

| 科目名                    |            | 看護生涯学習特論   |  |      | 担当教員名 | 平河 勝美、吉本 圭一          |
|------------------------|------------|--|--|------|-------|----------------------|
| 該当DP                   | 3          | 単位数  | 1単位  | 選択   | 配当年次  | 1年次・第2 Semester (前半) |
| 曜日・時限                  |            | 水曜日・6限目  |  |      | 教室    | オンライン授業              |
| 授業概要                   |            | 看護者は生涯にわたって学習し、能力を開発し続ける責務を有している。この授業では、生涯学習、省察的学習(リフレクション)、キャリアなどの基本的概念を踏まえ、履修者の経験にもとづくディスカッションを交えながら看護者の生涯学習の意義について理解を深める。また看護職の複線型養成制度や看護者のキャリア志向に関して考察するとともに、看護生涯学習を権利や倫理との関係において検討する。 |  |      |       |                      |
| 到達目標                   |            | 1) 看護教育制度、生涯学習、キャリア、経験的学習、省察的学習など、基本的概念を理解できる。<br>2) 看護者の生涯学習の様相、看護教育制度とリカレント型学習の関係について理解できる。<br>3) 看護生涯学習について権利や倫理の観点から理解できる。<br>4) 看護者のキャリア形成の諸状況を客観的に把握し、その背景を分析的に理解できる。                |  |      |       |                      |
| 回                      | 日程         | 見出し  | 内 容  |      |       | 実践的な<br>授業方法         |
| 1                      | 9/25       | 基本的概念<br>(吉本)  | 基本的で主要な概念として「学校制度と能力開発」「生涯学習」「職業とキャリア」「経験的学習・省察的学習(リフレクション)」について概説する。                                      |      |       | ○                    |
| 2                      | 10/2       | 看護者の学習の実際<br>(平河)  | 看護者の学習について、文献やデータを適宜用いながら、ニーズ、学歴、臨床経験などの観点から概観する。[ディスカッション]  |      |       | ○                    |
| 3                      | 10/9       | 看護教育制度と看護者の<br>生涯学習(1)(平河)   | 看護教育制度が複線型で発展してきた歴史の変遷をたどりながら、社会的・時代的状況と看護者の学習との関係を概説する。   |      |       |                      |
| 4                      | 10/16      | 看護教育制度と看護者の<br>生涯学習(2)(平河)   | 現在の看護教育制度を、看護者の臨床経験と学習とを関連づける機会として捉え、リカレント型学習について考察する。[ディスカッション]   |      |       | ○                    |
| 5                      | 10/23      | 看護者の実践知と省察的<br>学習(平河)  | デューイ、メジロー、ショーと引き継がれた省察的学習論の系譜を概観する。ベナーの「看護の臨床知」とその背景も視野に入れつつ、看護者の実践知や省察の意義について検討する。[ディスカッション]              |      |       | ○                    |
| 6                      | 10/30      | 看護生涯学習と権利/<br>倫理(平河)   | 学習権と教育権の発展経緯を概観し、看護生涯学習と、権利や職業倫理との関係について考察する。また看護教育者の養成についても取り上げる。[ディスカッション]                               |      |       | ○                    |
| 7                      | 11/6       | 看護者のキャリア形成と<br>背景(平河)  | 文献を適宜に用い、また、身近な事例の経験も交えて、ラダーによる看護キャリア形成について振り返るとともに、キャリアプラトナーや離職も含めて看護職のキャリア形成上の課題とその背景について検討する。[ディスカッション] |      |       | ○                    |
| 8                      | 11/13      | 総括:看護者の生涯学<br>習の意義(平河)   | これまでの講義とディスカッションを踏まえ、看護者が生涯にわたって学習し続けることの意義を多角的に議論する。[ディスカッション]  |      |       | ○                    |
| キーワード                  |            | 生涯学習、経験的学習、省察的学習、看護キャリア、権利/倫理、複線型看護教育制度  |  | 履修条件 | なし    |                      |
| 教材等                    | 教科書(要事前購入) | 特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。  |  |      |       |                      |
|                        | 参考書(任意購入)  | 『キャリアを拓く学びと教育』(吉本圭一著・科学技術出版・2020年)ほか、授業中に適宜紹介します。  |  |      |       |                      |
| 成績評価方法(%)<br>[評価のポイント] |            | ①期末試験(レポート)(80%、うち吉本分20%、平河分60%)、②授業中への参加状況[①授業内容に関係しているか、明確な主張があるかなどを評価する。②ディスカッションへの積極性・貢献性]   |  |      |       |                      |
| 授業時間外に必要な学修            |            | 看護について理解を深めた臨床経験、大学院進学後の自分の変化などを振り返っておいってください。   |  |      |       |                      |
| 学生へのメッセージ              |            | 学習主体として、豊かな臨床経験をもとに省察的に学んでください。平河担当回では、授業の最後に、わかったことや疑問などをミニトペーパーに記入してもらいます(次回に必要なフォローをするため。成績評価には用いません)。  |  |      |       |                      |

※ 授業の日程については変更する場合があります。